

10 その他

(1) 気象災害年表

(単位：百万円)

| 年度 | 主要な災害 | 月 日 | 概 要 | 被害額 農林水産物 (全国) |
|-----|------------------|-------------------|---|----------------------|
| 5年 | 梅雨前線、台風4号 | 5月13日 ～7月25日 | 前線の活動が長期間活発、台風が四国に上陸。九州南部で年間降水量に匹敵する大雨。 | 1,288,477 |
| | 台風5・6号 | 7月26日 ～7月30日 | 相次いで九州へ上陸。 | |
| | 梅雨前線、台風7・11号 | 7月31日 ～8月29日 | 九州南部を中心に甚大な被害。7/31～8/7豪雨。 | |
| | 台風13号 | 9月1日 ～9月5日 | 非常に強い勢力で九州南部に上陸。種子島で最大瞬間風速59.1m/s、宮崎県日之影町で日降水量540mm。 | |
| | 冷夏 | | 沖縄を除いて記録的な冷夏。4月頃から低温となることが多く、梅雨前線は6月から活発で8月になっても本州付近に停滞。同時にオホーツク海高気圧からの冷涼な風が北日本に影響。九州以北の梅雨明けは特定されず。 | |
| 6年 | 台風26号 | 9月28日 ～9月30日 | 和歌山県南部に上陸し本州横断。紀伊半島で暴風雨。三重県津で最大瞬間風速48.7m/s、奈良県上北山村で日降水量733mm。 | 196,036 |
| | 干ばつ | | 全国的に顕著な小雨。梅雨前線の活動は不活発で、台風の接近も少なく累年で降水量も最も少なく、平均気温も最も高く記録的となった。全国的に秋まで渇水。 | |
| 7年 | 梅雨前線 | 6月30日 ～7月22日 | 信越地方を中心に甚大な被害。 | 228,764 |
| | 前線、大気の状態不安定 | 8月9日 ～8月11日 | 前線が日本海から本州南岸へ南下、山形・新潟・鹿児島で大雨。鹿児島で104.5mm/h。 | |
| | 前線、台風12号 | 9月16日 ～9月17日 | 伊豆諸島や千葉県で暴風雨。三宅島で最大瞬間風速。55.4m/s千葉県勝浦で日降水量232mm。 | |
| 8年 | 前線、大気の状態不安定 | 7月3日 ～7月4日 | 熊本・宮崎で短時間降雨。 | 124,169 |
| | 台風12号 | 8月11日 ～8月15日 | 熊本県に上陸、日本海を経て東北へ。南西諸島から西日本で猛烈な風、鹿児島で最大瞬間風速58.5m/s。 | |
| | 台風17号 | 9月21日 ～9月23日 | 房総半島沖を北東へ、関東南部や伊豆諸島で暴風雨。銚子で最大瞬間風速51.9m/s、東京都新島で期間降水量391mm。 | |
| 9年 | 台風8号 | 6月26日 ～6月29日 | 九州北部に上陸後、本州を縦断。九州北部、中国四国地方で大雨。鳥取県鹿野町で日降水量311mm。 | 46,830 |
| | 梅雨前線、低気圧 | 7月1日 ～7月17日 | 西日本から中部地方で大雨、鹿児島県出水市で土石流被害。熊本県旭志村で期間降水量1495mm。 | |
| | 台風9号 | 7月24日 ～7月29日 | 四国東部に上陸、横断、四国から東海地方にかけて暴風や大雨。室戸岬で最大瞬間風速52.2m/s、奈良県上北山村で日降水量734mm。 | |
| | 前線、台風11号 | 8月3日 ～8月13日 | 九州、四国地方や北海道などで大雨。長崎県平戸で期間降水量708mm。 | |
| | 台風19号 | 9月13日 ～9月17日 | 九州南部に上陸、九州南部や四国で暴風。西日本から中部地方の太平洋側で大雨。宮崎県えびの市で日降水量688mm。 | |
| 10年 | 梅雨前線 | 8月3日 ～8月7日 | 新潟県で記録的大雨。新潟で日降水量265mm。 | 182,175 |
| | 前線、台風4号 | 8月26日 ～8月31日 | 栃木県北部から福島県にかけて記録的大雨。栃木県那須町で日降水量607mm。 | |
| | 台風5号 | 9月15日 ～9月17日 | 静岡県に上陸後北日本を縦断。関東で暴風、東日本から北日本で大雨。千葉県銚子で最大瞬間風速45.7m/s、北海道広尾で日降水量346mm。 | |
| | 台風7・8号 | 9月20日 ～9月23日 | 台風7・8号が2日連続して近畿地方に上陸。三重県上野市で最大瞬間風速56.4m/s。 | |
| | 前線 | 9月23日 ～9月25日 | 高知県で記録的な大雨。高知で時間雨量129.5mmの猛烈な雨。 | |
| | 前線、台風10号 | 10月15日 ～10月18日 | 九州南部に上陸、西日本縦断。和歌山県で最大瞬間風速53.8m/s。 | |
| 11年 | 梅雨前線、低気圧 | 6月23日 ～7月3日 | 西日本で激しい雨。福岡市で地下街浸水被害、広島県で土砂災害。 | 172,483 |
| | 熱帯低気圧 | 8月13日 ～8月16日 | 関東地方を中心に大雨。 | |
| | 前線、台風16号 | 9月14日 ～9月16日 | 九州南部に上陸後、四国から本州中部へ。岐阜県で長良川氾濫。 | |
| | 台風18号 | 9月21日 ～9月25日 | 熊本県に上陸。熊本県で顕著な高潮被害。南西諸島・九州・中国地方で猛烈な風、中部地方で大雨、愛知県で竜巻発生。 | |
| | 低気圧 | 10月27日 ～10月28日 | 低気圧が本州南岸で急速に発達。千葉県佐原市で時間153mmの記録的な大雨。 | |
| 12年 | 台風3号 | 7月3日 ～7月9日 | 伊豆諸島で暴風、関東から北海道の太平洋側で大雨。八丈島で最大瞬間風速49.3m/s。 | 29,857 |
| | 停滞前線、台風14・15・17号 | 9月8日 ～9月17日 | 東海地方で記録的な大雨、7万棟浸水。名古屋市で日降水量428mm。 | |
| 13年 | 梅雨前線 | 7月11日 ～7月13日 | 梅雨前線が日本海に停滞。九州北部で時間50mmを超える非常に激しい雨。 | 37,924 |
| | 台風11号 | 8月20日 ～8月22日 | 紀伊半島南部に上陸、東日本を中心に大雨。三重県尾鷲で日降水量549mm、和歌山県潮岬で最大瞬間風速38.2m/s。 | |
| | 前線、低気圧 | 9月2日 ～9月7日 | 九州南部から四国で時間100mmを超える猛烈な雨。 | |
| | 台風15号 | 9月8日 ～9月12日 | 関東南部に上陸、東海から関東山沿いを中心に大雨。栃木県奥日光で期間降水量895mm。 | |
| | 台風16号 | 9月6日 ～9月13日 | 久米島で最大瞬間風速50.8m/s、期間降水量967.5mmの記録的大雨。 | |

| 年度 | 主要な災害 | 月 日 | 概 要 | 被害額 農林水産物 (全国) |
|-------|-------------------|---|---|----------------------|
| 14年 | 台風6号、梅雨前線 | 7月8日 ～7月12日 | 房総半島上陸。中部地方から東北地方で大雨、関東南部で暴風。岐阜県根尾村で日降水量495mm、八丈島で最大瞬間風速46.1m/s。 | 45,065 |
| | 台風21号 | 9月30日 ～10月3日 | 関東南部に上陸し、北日本を縦断。関東から北日本の太平洋側で暴風。静岡県石廊崎で最大瞬間風速53.0m/s。 | |
| 15年 | 台風4号 | 5月30日 ～6月1日 | 沖縄・九州の東海上を北上愛媛県宇和島市付近に上陸。九州・沖縄から関東地方の広い地域で大雨・暴風。降り始めからの総雨量は四国南部で400mm、紀伊半島などで300mm以上記録。 | 420,724 |
| | 台風6号 | 6月17日 ～6月20日 | 沖縄・九州の西海上を北上、五島列島・津島付近を通過し日本海へ。九州・沖縄から近畿地方の広い地域で大雨・暴風。降り始めからの総雨量は九州山間地で400mm。 | |
| | 梅雨前線 | 7月19日 ～7月21日 | 活発化した梅雨前線の影響で九州を中心に各地(福島・新潟)で局地的に記録的豪雨。福岡県太宰府で時間104mm、熊本県水俣市で時間81mm。熊本県水俣市、鹿児島県菱刈町他各地で土砂崩れ等。 | |
| | 台風10号 | 8月7日 ～8月10日 | 沖縄本島通過し高知県室戸市付近に上陸日本列島を縦断。高知県室戸岬で最大瞬間風速69.2m/s。 | |
| | 台風14号 | 9月11日 ～9月14日 | 宮古島付近を通過朝鮮半島上陸後、北海道小樽市に接近宗谷海峡を抜けた。沖縄・九州・四国で200mmを超える大雨、沖縄・九州・東北地方で暴風。 | |
| | 冷夏 | | 平成5年以来10年ぶりの冷夏。7～8月北日本では平均気温が平年より1度以上低く、関東甲信、東北南部の梅雨明けが8月にずれ込む。日照時間は東日本で平年の7割以下。 | |
| 16年 | 台風6号 | 6月18日 ～6月22日 | 大型で非常に強い勢力のまま、高知県室戸市付近に上陸後、兵庫県明石市付近に再上陸し、日本海へ進み、佐渡沖を通過して津軽海峡へ抜けた。高知県室戸岬で最大風速43.7m/s(最大瞬間風速57.1m/s)を観測した。総降水量は三重県、高知県、徳島県で400mmを超えた。 | 239,687 |
| | 新潟・福島豪雨 | 7月12日 ～7月14日 | 日本海から東北部にのびる梅雨前線の活動が活発となった。新潟県中越地方や福島県会津地方で非常に激しい雨が降り、日降水量は新潟県栃尾市で421mm、加茂市宮寄上で316mm、福島県只見町で325mmを観測するなど、記録的な大雨となった。 | |
| | 福井豪雨 | 7月17日 ～7月18日 | 活発な梅雨前線が北陸地方を南下したのに伴い、福井県や岐阜県で大雨となった。福井県美山町では1時間に96mmの猛烈な雨が降り、福井市では18日の日降水量197.5mmを観測した。 | |
| | 台風10号 | 7月29日 ～8月2日 | 強い勢力で高知県西部に上陸した。さらに瀬戸内海を経て広島市付近に再上陸し、日本海を北上した。近畿南部や四国地方で激しい雨が降った。台風通過後、発達した雨雲が四国地方に流れ込み、高知県や愛媛県では1時間に100mmを超える雨を観測した。また、5日間の総降水量は、徳島県や奈良県で1000mmを超え、高知県では700mmを超えた。 | |
| | 台風15号 | 8月17日 ～8月20日 | 九州の西海上を通過し、強い勢力を維持しながら日本海を北東に進み、青森県津軽半島に上陸し、根室の南東海上へ抜けた。九州から北海道にかけて日本海側の各地で暴風雨となった。四国地方や九州地方などで激しい雨が降り、総降水量は四国地方で600mmを超えた。 | |
| | 台風16号 | 8月27日 ～8月31日 | 鹿児島県串木野市付近に大型で強い勢力で上陸し、九州を縦断して、山口県防府市付近に再上陸した後、能登沖、津軽海峡を通過して、北海道苫小牧市付近に上陸、オホーツク海へ抜けた。総雨量は西日本の太平洋側で500mmを超え、台風上陸、接近に伴い各地で暴風となった。また、30日夜には、台風接近と大潮期間の満潮と重なり、高松港、宇野港などで観測開始以来、最も高い潮位を観測した。 | |
| | 台風18号 | 9月4日 ～9月8日 | 沖縄本島を通過し、長崎市付近に上陸して九州北部を横断、日本海を北東に進み、北海道西海上を北上した。沖縄・九州・中国・北海道地方では最大瞬間風速50m/s以上の猛烈な風を観測し、多くの地点で強風の記録を更新した。また、九州地方の一部で900mmを超える大雨を観測した。瀬戸内海沿岸、日本海沿岸などで高潮となった。 | |
| | 台風21号 | 9月25日 ～9月30日 | 強い勢力で沖縄本島を通過し、暴風域を伴って鹿児島県串木野市付近に上陸。高知県宿毛市付近に再上陸した後、大阪市付近に再上陸し、北陸、東北地方を通過して、三陸沖へ抜けた。総雨量は四国地方や近畿地方で400mm、東北北部で250mmを超えた所があった。 | |
| | 台風22号 | 10月7日 ～10月9日 | 伊豆半島に強い勢力で上陸し、関東地方を通過して、鹿島灘へ進み、東海上へ抜けた。東海地方から関東南部にかけて、総雨量が300mmから400mmの大雨となった。また、静岡県石廊崎で最大瞬間風速67.6m/s、東京都大島で51.5m/sを観測するなど、猛烈な雨や風となった。 | |
| 台風23号 | 10月18日 ～10月21日 | 沖縄本島から奄美諸島沿いに進み、大型の強い勢力で高知県土佐清水市付近に上陸した後、大阪府泉佐野市付近に再上陸し、その後、東日本を横断して関東の東海上に抜けた。総降水量は四国地方や大分県で500mmを超えたほか、近畿北部や東海、甲信地方で300mmを超え、広い範囲で大雨となった。特に、九州地方から関東地方の多くの地点で、これまでの日降水量の記録を上回る大雨となった。 | | |
| 17年 | 梅雨前線 | 6月27日 ～7月4日 | 朝鮮半島から西日本に伸びた梅雨前線の活動が活発となり、山口県と愛媛県で日降水量が200mmを超え、山口県柳井市柳井で347mm、周防大島町安下庄で332mm、愛媛県内子町獅子越峠で244mmを観測するなど、この期間、各地で記録的な大雨となった。 | 40,177 |
| | 台風14号 | 9月4日 ～9月8日 | 5日から大型の強い勢力で九州西岸沿いに進み、6日14時過ぎ長崎県諫早市に付近に上陸した後、九州地方北部を通過し、山陰沖に抜け、北海道に再上陸した後、オホーツク海に抜けた。長時間にわたって暴風、高波、大雨が続いた九州、中国、四国地方の各地で4日0時からの総雨量が、9月の月間平均雨量の2倍を超え、これまでの日雨量の記録を更新した。 | |

| 年度 | 主要な災害 | 月 日 | 概 要 | 被害額 農林水産物 (全国) |
|-----|----------------------|-------------------|---|----------------------|
| 18年 | 平成18年 豪雪 | 17年12月 ～18年3月 | 12月から1月上旬にかけて、非常に強い寒気が日本付近に南下し、強い冬型の気圧配置が断続的に現れたため、日本海側では記録的な大雪となった。各地で積雪の12月としての最大記録を更新するとともに、東日本と西日本では12月の月平均気温が戦後最も低くなった。 1月中旬以降も、日本海側の山沿いを中心に大雪となる日が多々あった。12月からの度重なる大雪により、新潟県津南町では2月5日、これまでの最大記録を超える416cmの積雪を観測したほか、12月～3月の間、積雪を観測している339地点のうち23地点で、これまでの積雪の最大記録を更新した。また、12月としての最大記録を106地点で、1月としての最大記録を54地点で、2月としての最大記録を18地点で、3月としての最大記録を4地点で更新した。 | 59,031 |
| | 梅雨前線 | 6月21日 ～7月14日 | 東シナ海から西日本を通過して本州南岸にのびる梅雨前線の活動が活発となり、西日本を中心に大雨となった。6月21日～7月3日までは九州北部で700mm越えた。4日～10日までの西日本各地で1時間に50mmを超える非常に激しい雨、8日には長崎県で1時間に80mmを超える猛烈な雨、11日～14日までの中国、近畿、東海、北陸地方及び長野県で1時間に50mmを超える非常に激しい雨を観測した。 | |
| | 平成18年 7月豪雨 | 7月15日 ～7月24日 | 15日～24日にかけて、九州から本州付近にのびた梅雨前線の活動が活発となった。山陰、北陸地方及び長野県では15日～21日までの総雨量が7月の月間平均雨量の2倍を超える大雨となった。九州南部では18日～24日までの総雨量が7月の月間平均雨量の2倍を超える大雨となった。 | |
| | 台風13号 | 9月15日 ～9月20日 | 16日沖縄本島の西海上を北東に進み、17日には強い勢力で九州地方に接近し、同18時過ぎに長崎県佐世保市付近に上陸した後、九州北部を北東進し、20時頃日本海へ進んだ。その後、北海道に再上陸した後、オホーツク海に抜けた。台風と活発な前線の活動により、九州北部、広島県の一部で降り始めからの総雨量が9月の月間平均雨量を超える大雨となった。高知県馬路村魚梁瀬で340mm、広島県佐伯区佐伯湯で319mmを観測した。 | |
| 19年 | 台風4号、梅 雨前線 | 7月2日 ～7月17日 | 台風4号からの暖かく湿った空気の影響で、7月12日から梅雨前線の活動が活発となり、13日から16日にかけては台風が南西諸島から本州南岸に沿って進んだため、沖縄地方から東北地方にかけての広い範囲で記録的な大雨となった。このため、四国地方や近畿地方の太平洋側を中心に、15日までの4日間、総降水量は多いところで600mmを超える大雨となったほか、暴風が吹いた。 | 25,259 |
| | 台風5号 | 8月2日 ～8月3日 | 台風5号は8月2日、強い勢力を保って宮城県日向市に上陸し、その後も北上して3日には山口県宇部市付近に再上陸し、勢力を弱めて日本海へ進んだ。このため、四国地方の太平洋側を中心に2日からの総雨量が300mmを超える大雨となったほか、瀬戸内海沿岸では高潮となり、四国地方及び近畿地方では暴風が吹いた。 | |
| 20年 | 大雨 | 7月27日 ～7月29日 | 28日、29日ともに、上空に寒気が入り下層には暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が不安定となった。北陸地方では、石川県と富山県の各地で1時間に100ミリを超える雨が解析された。近畿地方では28日昼頃から夜にかけて、所々で1時間に100ミリを超える雨が解析された。 | 13,621 |
| | 平成20年 8月末豪雨 | 8月28日 ～8月31日 | 8月26日に低気圧が東シナ海を東に進み九州南部に接近した。これに伴い、27日にかけて西日本の太平洋側を中心に南から暖かく湿った空気が流れ込み大雨となった。また、この低気圧が日本の南海上に進んだ8月28日から31日にかけては、本州付近に停滞した前線に向かって南から非常に湿った空気の流れ込みが強まり、大気の状態が不安定となって、東海、関東、中国および東北地方などで記録的な大雨となった。1時間雨量の記録を更新した地点が全国で20箇所を超え、各地で局地的な短時間の非常に激しい雨が降った。 | |
| | 台風13号 | 9月9日 ～9月20日 | 9月9日に発生した台風13号は、石垣島地方、与那国島地方、多良間島を暴風域に巻き込んだ後、九州、四国の南の海上から紀伊半島の南の海上を通過し、20日7時には銚子市の南の海上へ進んだ。 | |
| 21年 | 平成21年7月中国・九州北部 豪雨 | 7月19日 ～7月26日 | 7月19日から21日にかけて、山陰沖から近畿地方を通過して東海地方にのびる梅雨前線に向かって非常に湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発化した。山口県防府市防府では、3日間の雨量が332.0ミリに達した。7月24日から26日にかけて、九州北部地方から山陰、北陸を通過して東北地方にのびる梅雨前線に向かって非常に湿った空気が流れ込み、再び前線の活動が活発化した。 | 30,158 |
| | 台風9号 | 8月8日 ～8月11日 | 8日に日本の南で発生した熱帯低気圧は北上しながら9日21時に台風第9号となり、10日に紀伊半島の南、11日には東海と関東の南を通過して、日本の東海上へ進んだ。この熱帯低気圧及び台風周辺の非常に湿った空気の影響で、8日から11日にかけて九州地方から東北地方の広い範囲で大雨となった。8日から11日までの総雨量は、四国地方、中国地方及び近畿地方の一部で8月の月降水量平年値の2倍を超える大雨となった。 | 19,254 |
| | 台風18号 | 10月6日 ～10月9日 | 8日早朝に知多半島付近に上陸し、北東に進んで、同日午後には東北沖にぬけ、9日午後には温帯低気圧となった。非常に強い勢力を保ったまま、南西諸島から西日本に接近し、強い勢力で上陸したため、沖縄地方から北海道地方にかけての広い範囲で暴風・大雨となった。 | 30,519 |
| 22年 | 梅雨前線による 大雨 | 7月10日 ～7月16日 | 7月10日から16日にかけて、本州付近に停滞した梅雨前線に向かって南から非常に湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となり、西日本から東日本にかけて大雨となった。この期間の雨量は、広島県呉市呉など多くの地点で7月の月降水量平年値を上回った。24時間雨量では、広島県、島根県、福岡県でも観測史上1位を更新した地点があった。1時間雨量では、広島県庄原市庄原で観測史上1位を更新した。九州北部地方、中国地方、東海地方などを中心に各地で浸水害や土砂災害が発生した。 | 58,952 (6月11日以降計) |
| | 前線による大 雨 | 10月18日 ～10月21日 | 10月18日から21日にかけて、前線が奄美地方に停滞し、南シナ海にあった台風第13号の東側で非常に湿った空気が前線付近に流れ込んだため、大気の状態が不安定となり、奄美地方では、所により期間降水量が800ミリを超える記録的な大雨となった。 | 4,442 |

| 年度 | 主要な災害 | 月 日 | 概 要 | 被害額 農林水産物 (全国) |
|-----|--------------------------------------|-------------------|--|----------------------|
| 23年 | 台風12号 | 8月30日 ～9月6日 | 8月25日にマリアナ諸島西の海上で発生した台風第12号は発達しながら北上し、30日には大型で強い台風となり、四国、中国地方を縦断し、日本海に進んだ。台風が大型で動きが遅かったため、長時間にわたって台風周辺の非常に湿った空気が流れ込み、西日本から北日本にかけて、山沿いを中心に広い範囲で記録的な大雨となった。 | 145,329 |
| | 台風15号 | 9月15日 ～9月22日 | 9月13日に日本の南海上で発生した台風第15号は、19日には強い台風となり奄美群島の南東海上を北東に進み、20日には中心気圧が940hPa、最大風速が50m/sの非常に強い台風となった。その後、四国の南海上から紀伊半島に接近した後、21日静岡県浜松市付近に上陸した。台風が、南大東島の西海上にしばらく留まり、湿った空気が長時間にわたり本州に流れ込んだことと、上陸後も強い勢力を保ちながら北東に進んだことにより、西日本から北日本にかけての広い範囲で、暴風や記録的な大雨となった。 | 59,048 |
| 24年 | 4月3日から5日にかけての大雨と強風 | 4月3日 ～4月5日 | 4月3日から4日にかけて、急速に発達した低気圧の影響により、西日本から北日本の広い範囲で大雨を伴う強風となった。このため、水稻や野菜等に浸冠水や土砂流入等の被害が発生した。 | 18,609 |
| | 7月九州北部豪雨(6月8日から7月23日までの間の豪雨及び暴風雨を含む) | 6月8日 ～7月23日 | 7月11日から14日にかけて、本州付近に停滞した梅雨前線に向かって南から非常に湿った空気が流れ込み、九州北部を中心に大雨となった。統計期間が10年以上の観測地点のうち、最大1時間降水量で7地点、最大24時間降水量で8地点が観測史上1位の値を更新した。これにより、水稻、野菜等で浸冠水、土砂流入等の被害が発生した。 | 126,553 |
| | 台風16号 | 9月15日 ～9月19日 | 台風16号は、9月15日に非常に強い勢力となって沖縄の南海上を北へ進んだ。16日に大型で非常に強い勢力を保ったまま沖縄本島付近を通過し、その後九週の西海上を北へ進んだ。これにより、さとうきびで茎葉の裂傷、折損等、水稻で倒伏や潮風害等の被害が発生した。 | 6,630 |
| | 台風17号 | 9月28日 ～10月1日 | 台風17号は、非常に強い勢力となり、9月28日に沖縄の南海上に達した。29日に南西諸島を暴風域に巻き込みながら北上し、30日17時半頃志摩半島付近を通過して、19時頃愛知県東部に上陸した。その後関東甲信地方、東北地方を経て、10月1日には北海道東方海上に達した。これにより、さとうきびで茎葉の裂傷、折損等、果樹で枝折れや落果等の被害が発生した。 | 8,935 |
| 25年 | 梅雨期等における大雨等 | 6月8日 ～8月9日 | 7月26日から8月3日にかけて、日本付近に暖かく湿った空気が流れこんだことにより、西日本から北日本の広い範囲で大気の状態が非常に不安定となり、局地的に非常に激しい雨が降った。この大雨により、島根県、山口県では各地で河川の氾濫や土砂災害による農地の浸水等の被害が多数発生した。 | 68,811 |
| | 8月23日から25日にかけての大雨 | 8月23日 ～8月25日 | 8月23日から25日にかけて、西日本をゆっくり南下した前線に向かって、南海上から暖かく湿った空気が、太平洋高気圧の縁を回って流れ込んだため、大気の状態が非常に不安定となった。島根県西部では、24日の明け方と25日の明け方に猛烈な雨が降り、24時間降水量が多いところで400ミリを超え、8月の月降水量平年値の約3倍の記録的な大雨となった。 | 12,242 |
| | 台風18号 | 9月13日 | 9月13日に小笠原諸島近海で発生した台風第18号は発達しながら日本の南海上を北上し、潮岬の南海上を通過し、16日暴風域を伴って愛知県豊橋市付近に上陸。その後、速度を速めながら、東海地方、関東甲信地方及び東北地方を北東に進み、16日北海道の南東の海上で温帯低気圧となった。これにより、四国地方から北海道にかけての広い範囲で大雨となった。 | 66,437 |
| | 台風26号 | 10月14日 ～10月16日 | 10月11日にマリアナ諸島付近で発生した台風第26号は発達しながら日本の南海上を北上し、大型で強い勢力のまま、16日明け方に暴風域を伴って関東地方沿岸に接近した。その後、台風は関東の東海上を北上し、16日15時に三陸沖で温帯低気圧に変わった。この台風により、15日と16日を中心に、西日本から北日本の広い範囲で暴風、大雨となった。 | 15,103 |
| | 2月13日から19日にかけての大雪・暴風雪 | 2月13日 ～2月19日 | 2月13日に発生した低気圧が、前線を伴って、発達しながら本州の南岸を北東へ進み、16日には三陸沖に達した。その後、低気圧はさらに発達しながら北海道の東海上に進み、19日にかけて千島近海でほとんど停滞。この低気圧の影響で、西日本から北日本にかけての太平洋側を中心に広い範囲で降雪となった。特に、関東甲信地方及び東北地方では、14日夜から15日を中心に降雪が強まり、記録的な大雪となった。 ※被害額は、11月以降の雪害被害金額の合計 | 184,148 |

| 年度 | 主要な災害 | 月 日 | 概 要 | 被害額 農林水産物 (全国) |
|-----|-----------------------|-----------------|--|----------------------|
| 26年 | 台風8号及び梅雨前線による大雨及び暴風 | 7月6日 ～7月11日 | 7月4日にマリアナ諸島付近で発生した台風第8号は、8日には大型で非常に強い勢力で沖縄本島と宮古島の間を北上した。その後、九州の西海上で進路を東寄りに変え、10日、鹿児島県阿久根市付近に上陸し、本州南岸を東に進み、11日に福島県沖で温帯低気圧に変わった。また、梅雨前線が6日から11日にかけて、西日本から北日本に徐々に北上した。台風周辺の湿った南風と梅雨前線の影響で、台風から離れた地域でも局地的に猛烈な雨が降ったところがあった。 ※被害額は、6/2から7/28までの梅雨期の大雨等による被害額の合計 | 25,002 |
| | 8月豪雨 | 7月30日 ～8月26日 | 7月31日から8月11日にかけて、台風第12号及び台風第11号が相次いで日本列島に接近し、8月5日から26日にかけて、前線が日本付近に停滞した。また、7月30日から8月26日の期間を通じて、日本付近への暖かく非常に湿った空気の流れ込みが継続した。これら台風や前線等の影響で全国各地で連日大雨となった。また、台風第12号、第11号が接近・上陸した沖縄・奄美や西日本を中心に暴風となったほか、西日本から東北地方にかけての10県において竜巻等の突風が発生した。 | 78,435 |
| | 台風18号 | 9月15日 ～9月16日 | 9月29日15時にトラック諸島近海で発生し、大型で強い勢力を維持したまま潮岬の南を通って、10月6日8時過ぎに静岡県浜松市付近に上陸した。台風は速度を速めながら東海地方及び関東地方を北東に進み、6日21時に日本の東海上で温帯低気圧に変わった。台風と本州付近に停滞した前線の影響で、東日本太平洋側を中心に大雨となった。また、沖縄・奄美と西日本・東日本の太平洋側を中心に暴風となり、猛烈なしけとなった。 | 7,701 |
| | 2月14日から19日にかけての大雪・暴風雪 | 2月14日 ～2月19日 | 2月13日に発生した低気圧が、16日にかけて発達しながら本州の南岸を北東へ進んだ。その後、低気圧はさらに発達しながら三陸沖から北海道の東海上に進み、19日にかけて千島近海でほとんど停滞した。この低気圧の影響で、西日本から北日本にかけての太平洋側を中心に広い範囲で雪が降り、特に14日夜から15日にかけてを中心に、関東甲信及び東北地方で記録的な大雪となったところがあった。 | 4,082 |
| 27年 | 台風9号・11号・12号 | 6月2日～7月26日 | 6月2日から7月26日にかけて、日本付近に停滞する梅雨前線の活動が断続的に活発となった。また、この間、台風9号、11号、12号が日本に接近上陸し、各地で土砂災害、河川の氾濫が相次いだ。特に、台風11号は、高知県室戸市付近に上陸し、四国地方の多いところで総降水量が600mmを越える記録的な大雨となった。 | 13,564 |
| | 台風18号 | 9月7日～9月11日 | 9月7日3時に発生した台風第18号は、日本の南海上を北上し、9月9日10時過ぎに愛知県知多半島に上陸した後、日本海に進み、同日21時に温帯低気圧に変わった。台風第18号及び台風から変わった低気圧に向かって南から湿った空気が流れ込んだ影響で、西日本から北日本にかけての広い範囲で大雨となり、特に関東地方と東北地方では記録的な大雨となった。 | 49,887 |
| 28年 | 梅雨前線による大雨 | 6月19日～6月30日 | 6月19日から25日にかけて、本州付近に梅雨前線が停滞し、その前線上を次々と低気圧が通過した。その後前線は南下し、一時活動が弱まったが、27日以降再び本州付近に北上し活動が活発となった。これらの影響で、西日本を中心に大雨となった。 ※被害額は、6/6から7/15までの間の豪雨による被害額の合計 | 609.2 |
| | 鳥取中部の地震 | 10月21日 | 10月21日14時07分に鳥取県中部の深さ約10kmでマグニチュード(M)6.6(暫定値)の地震が発生した。この地震により鳥取県で最大震度6弱を観測し、被害を伴った。 | 18.4 |

(単位：億円)

| 年度 | 主要な災害 | 月 日 | 概 要 | 被害額 農林水産物 (全国) |
|-----|----------------------------|---------------|--|--------------------------------|
| 29年 | 台風第3号及び梅雨前線による6月30日からの大雨 | 6月30日～7月10日 | 梅雨前線が、6月30日から7月4日にかけて北陸地方や東北地方に停滞し、その後ゆっくり南下して、7月5日から10日にかけては朝鮮半島付近から西日本に停滞した。また、7月2日09時に沖縄の南で発生した台風第3号は、東シナ海を北上し、7月4日08時頃に長崎市に上陸した後東に進み、5日09時に日本の東で温帯低気圧に変わった。梅雨前線や台風第3号の影響により、西日本から東日本を中心に局地的に猛烈な雨が降り、大雨となった。 | 1,123.6 |
| | 台風第18号及び前線による大雨・暴風等 | 9月13日～9月18日 | 9月9日にマリアナ諸島で発生した台風第18号は、日本の南を北西に進み、13日に非常に強い勢力で宮古島付近を北上した。台風は、15日には東シナ海で向きを東寄りに変え、17日11時半頃に鹿児島県南九州市付近に上陸した。その後、台風は暴風域を伴ったまま日本列島に沿って北上し、高知県や兵庫県、北海道に再上陸して、18日21時にサハリンで温帯低気圧となった。台風や活発な前線の影響で、南西諸島や西日本、北海道を中心に大雨や暴風となった。 | 342.7 |
| | 台風第21号及び前線による大雨・暴風等 | 10月21日～10月23日 | 10月16日にカロリン諸島で発生した台風第21号は、21日から22日にかけて日本の南を北上し、23日3時頃、超大型・強い勢力で静岡県御前崎市付近に上陸した。台風はその後、広い暴風域を伴ったまま北東に進み、23日15時に北海道の東で温帯低気圧となった。台風を取り巻く発達した雨雲や本州付近に停滞した前線の影響により、西日本から東日本、東北地方の広い範囲で大雨となった。 | 659.9 |
| 30年 | 強い冬型の気圧配置による大雪 | 2月4日～2月中旬頃 | 日本付近は、2月3日から8日にかけて強い冬型の気圧配置が続き、上空には非常に強い寒気が流れ込み続けた。この影響で、北日本から西日本の日本海側を中心に断続的に雪が降り、北陸地方を中心に、山地や山沿いに加え平野部でも大雪となった。 | 67.0 |
| | 平成30年7月豪雨(前線及び台風第7号による大雨等) | 6月28日～7月8日 | 6月28日以降、華中から日本海を通過して北日本に停滞していた前線は7月4日にかけて北海道付近に北上した後、7月5日には西日本まで南下しその後停滞した。また、6月29日に日本の南で発生した台風第7号は東シナ海を北上し、対馬海峡付近で進路を北東に変えた後、7月4日15時に日本海で温帯低気圧に変わった。前線や台風第7号の影響により、日本付近に暖かく非常に湿った空気が供給され続け、西日本を中心に全国的に広範囲で記録的大雨となった。6月28日から7月8日までの総降水量が四国地方で1800ミリを超えるところがあるなど、7月の月降水量平年値の2～4倍の大雨となるところがあった。また、中国、四国を初め全国の多くの観測地点で「24、48、72時間降水量の値が観測史上1位となるなど、広範囲における長時間の記録的大雨となった。これらの影響で、河川の氾濫、浸水害、土砂災害等が発生した。 | 3,306.5 (H31.1.9現在。引き続き調査中) |
| | 台風第21号による暴風・高潮等 | 9月3日～9月5日 | 8月28日に南島島近海で発生した台風第21号は、日本の南を北西に進み、9月3日には向きを北寄りに変え、4日12時頃に非常に強い勢力で徳島県南部に上陸した。その後、4日14時には兵庫県神戸市に再び上陸し、速度を上げながら近畿地方を縦断し、日本海を北上。5日9時には間宮海峡で温帯低気圧に変わった。台風の接近・通過に伴って、西日本から北日本にかけて非常に強い風が吹き、非常に激しい雨が降った。 | 442.2 (H30.12.7現在。引き続き調査中) |
| | 台風第24号による暴風・高潮等 | 9月28日～10月1日 | 9月21日にマリアナ諸島近海で発生した台風第24号は、沖縄の南を北西に進み、9月28日から30日明け方にかけて、非常に強い勢力で沖縄地方に接近した後、北東に向きを変え、急速に加速しながら、30日20時頃に和歌山県田辺市付近に上陸した。その後、東日本から北日本を縦断し、10月1日12時までには日本の東で温帯低気圧に変わった。台風第24号の接近・通過に伴い、広い範囲で暴風、大雨、高波、高潮となり、特に南西諸島及び西日本・東日本の太平洋側を中心に、これまでの観測記録を更新する猛烈な風または非常に強い風を観測したところがあった。 | 616.5 (H30.12.7現在。引き続き調査中) |

資料： 気象庁「災害をもたらした台風・大雨・地震・火山噴火等の自然現象のとりまとめ資料」
農林水産省経営局総務課災害総合対策室「災害関連情報」、統計情報部「主要災害種類別被害概況」

注： 被害額については、地震災害を含む。

気象庁と農林水産省の取りまとめの違いにより、「主な災害」と「被害額」で集計期間が一致しない場合がある。